

# すすかけ6月号

令和8年6月 1日  
所沢市立若狭小学校  
校長 大倉 勉

未来を生きる力を育む ふるさと若狭

## 心を一つに全力で

5月23日(土)、多くの保護者の方や地域の皆様に温かく見守られながら、「心を一つに全力で くいなく最高の思い出を」をスローガンに、第55回運動会が開催されました。安全協会、防犯協会、おやじの会の皆様、保護者、地域の皆様におかれましては、警備や片付け等にもご協力いただきありがとうございました。

当日は、子供たちが楽しみながら、競技・演技・応援すべてにおいて全力を出し切り、見る人に感動を与える素晴らしい運動会になったと感じています。運動会終了後には、勝利の喜びに満面の笑顔を浮かべる児童もいれば、悔しさに涙する児童もいました。それだけ本気で臨んでいたということだと思います。そして、本気で臨んだからこそ、成功や失敗、勝敗にかかわらず、成長の糧となる大きな成果を得ることができたと確信しています。

子供たちが、本気で頑張ったのは、運動会当日だけではありません。当日までの練習や準備においても、努力を重ね、全力で取り組む姿が随所で見られました。校長室の窓から子供たちの練習風景を見ていると、そのやる気に満ちた表情や真剣なまなざしに、何度も泣かされそうになりました。全体練習でも「ゴーゴー」の歌声は、これでもかというくらい校庭中に響き渡りました。応援団が分担して各クラスに行き、応援の仕方を伝達した時も、一生懸命練習する様子が見られ、運動会に向けて熱量が高まっていくのを感じました。前日準備にあっては、6年生のきびきびと進んで仕事をする姿に、この子供達あつての若狭小学校運動会だなと感心させられました。

学校行事の目標は、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てることにあります。この度の運動会では、この目標の達成に向けて大きく前進することができました。目的達成のための努力の必要性や、全力を出すことの尊さ、協力することの大切さを知った子供たちの今後の活躍を大いに期待します。

